

留 学 報 告 書

記入日: 2014年7月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	農学部農学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学デービス校 現地言語: University of California, Davis
留学期間	2013年9月～2014年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Landscape Architecture
帰国年月日	2014年7月3日
明治大学卒業予定年	2015年3月



留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬~12月上旬 2学期:1月上旬~3月下旬 3学期:4月上旬から6月下旬
学生数	1905年
創立年	33,300人

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料	17,000	170万円	
宿舍費	7,200	720,000円	
食費	3,700	370,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	1,000	100,000円	
教養娯楽費	900	90,000円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	2,000	200,000円	形態:
渡航旅費	2,000	200,000円	
雑費	1,000	100,000円	
合計	34,800	3,480,000円	

渡航関連

渡航経路: 直行便

渡航費用

チケットの種類	ユナイテッド往復券
往路	10万円
復路	11万円
合計	21万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ユナイテッド航空

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍など)

外国人留学生向けシェアアパート

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3) 住居を探した方法:

インターネット

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

コストパフォーマンスが非常に優れており、大満足でした。
勉強に集中したいときには、個室もあり、十分な環境でした。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

プロの心理カウンセラーが大学にいました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

留学プログラムのアドバイザーを通じて、危険管理の情報を入手していました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話は、現地で、格安のものを購入し、プリペイドとして利用していました。

学校とアパートの Wi-Fi はいつも利用できる状態でした。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の銀行を通じて、学生向けの銀行口座を作り、両親に送金してもらいました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

薬類はなるべく日本のものを調達した方がよいと思います。

進路について

1) 進路

- 就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

大学ホームページ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

明治大学大学院

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

留学先にいるときから、自分は何をしたいのかを早く見定め、対策を始めるのが良いと思います。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18単位		<input checked="" type="checkbox"/> 4単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Site Ecology		景観生態学
科目設置学部・研究科	Landscape Architecture	
履修期間	春学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Prof. Greco	
授業内容	実習、実験	
試験・課題など	定期試験2回	
感想を自由記入	実際にフィールドに出て、植生調査や野生動物の生息状況。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Environmental Design		環境デザイン入門
科目設置学部・研究科	Landscape Architecture	
履修期間	秋学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Prof.Napawan	
授業内容	実際のプロジェクトを紹介しながらの、環境デザイン学の概論。	
試験・課題など	定期試験2回	
感想を自由記入	実世界での環境デザイン学がどのように応用できるかがよくわかる。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
University Writing		ライティング特訓
科目設置学部・研究科	Landscape Architecture	
履修期間	秋学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が2回	
担当教授		
授業内容	エッセイの書き方、発表手法、著作権法など	
試験・課題など	最終エッセイが一つ	
感想を自由記入	英語での論文が徹底的に鍛えられた。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Landscape Drafting		ランドスケープ製図学
科目設置学部・研究科	Landscape Architecture	
履修期間	秋学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Prof. Boultz	
授業内容	プロフェッショナルな製図方法の取得を目指す。コンピュータを使った、製図等。	
試験・課題など	最終課題一つ。	
感想を自由記入	かなり採点が厳しいが、製図の能力はかなり上がる。	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	留学開始 現地でのステイ先の検索 オリエンテーション、履修登録
10月～12月	最終課題と期末テスト
2014年 1月～3月	冬休み 授業再開 フィールド調査
4月～7月	春休み 期末テスト 製作課題 学園祭
8月～9月	
10月～12月	
2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	もともと、農学部環境デザイン研究室に所属しており、より深く造園のことに興味を持っていました。そこで、ランドスケープアーキテクチャーの先進国であるアメリカで、本格的に環境デザインを学びたいと思い、留学しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	体力づくりです。 留学先では、多くの制作課題に追われる日が多く、他の授業のレポートも加わって、睡眠時間が十分に確保できないことがあります。あまり寝なくとも頑張れる体力が必要だなと思いました。
この留学先を選んだ理由	明治大学の協定校で、造園の分野が一番進んでいたからです。
大学・学生の雰囲気	カリフォルニアの人種の多様な風土もあって、学生達は非常に気さくで、フレンドリーに接してくれました。 勉強に対する姿勢も非常に熱心で、見習うべき点が多かったです。
寮の雰囲気	寮には所属していませんでした。 そのかわり、様々な留学生とシェアハウスを行い、交流を深めていきました。
交友関係	自分は、Landscape Architecture の学科に所属しており、徹夜で課題を終わらせなければならぬことも多く、自然と仲良くなっていきました。今でも仲のいい友達です。
困ったこと、大変だったこと	最初は英語を聞き取るのに非常に苦労しました。そのため、授業中にとっていたメモも不完全なことが多く、苦労しました。しかし、教授陣は本当に親切で、オフィスアワーではいつも助けて頂きました。
学習内容・勉強について	私は、製図や模型製作等の授業を取っていました。自分の作品を大人数の前で発表することも多く、緊張の連続でしたが、母国語でない言葉でのプレゼンを終えた時の達成感は格別でした。
課題・試験について	試験勉強の範囲は非常に広く、大変だったのですが、あらかじめ予想問題をくれる場合も多く、なんとか頑張りぬくことができました。
大学外の活動について	課題が忙しく、あまり参加できませんでした。 それでも、大学が開催するイベントには顔を出すようにしていました。
留学を志す人へ	留学は目的が具体的で、はっきりしていることが重要です。 慣れない環境で苦しくなることが多いですが、その時は、この目標を思い出して、頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	製作課題		製作課題		製作課題	睡眠	
		環境デザイン学		環境デザイン学		睡眠	自習
午後	環境デザイン学					自習	課外活動
			自習	自習			
夕刻	自習	自由	自習	自習	自習	自習	自習
夜	自習	課外活動	自習	課外活動	自習	交流活動	自習